

## 風しん抗体検査、予防接種はお済ですか

### 風しんと先天性風しん症候群の発生を予防しましょう

風しんの流行に引き続き注意が必要です。平成 25 年には累計 14,357 例の報告があり、平成 20 年以降では最も多い報告数となりました。抗体を持たない又は低い抗体価の妊娠中の女性が風しんにかかると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害（先天性風しん症候群）が起こる可能性があります。平成 24 年 10 月以降に 43 例の先天性風しん症候群が報告されています。

厚生労働省は、平成 26 年 3 月 28 日、早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、平成 32 年度までに風しんの排除を達成することを目標とする「風しんに関する特定感染症予防指針（厚生労働大臣告示第 122 号）」を策定しました。

同指針は、乳児期及び小学校入学始期前における予防接種に基づく予防接種の一層の充実を図るとともに、予防接種法に基づかない予防接種の推奨として、次の者のうち、り患歴または予防接種歴が明らかでない者に対し、風しんの抗体検査や予防接種の推奨を行う必要があるとしています。

妊娠を希望する女性及び抗体を有しない妊婦の家族

予防接種を受けていなかった者の割合が高い昭和 37 年度から平成元年度に出生した男性及び昭和 54 年度から平成元年度に出生した女性

医療関係者、児童福祉施設等の職員、学校等の職員

わが国に風しんウイルスを流入させる可能性のある海外へ渡航する者

特に、 のうち抗体価が十分であると確認できた方以外の方以外は、予防接種を受けることをご検討ください。

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会(全衛連)